

第23回女子ハンドボール世界選手権

期間:2017年12月1日~17日 開催国:ドイツ連邦共和国

【日本:Group C】開催都市:OLDENBURG 会場:Große EWE Arena

《 試合結果報告 》

12月 8日(金曜日)

JAPAN	VS	Tunisia
15	前半	6
16	後半	7
0	第1延長	0
0	第2延長	0
31	合計	13

【 個人得点 】

背番号	名前	前半	後半	合計
2	永田 美香	0	0	0
3	角南 果帆	2	0	2
4	角南 唯	0	1	1
5	塩田 沙代	0	0	0
7	藤田 明日香	0	2	2
9	横嶋 彩	4	4	8
12	板野 陽	0	0	0
13	勝連 智恵	0	1	1
15	多田 仁美	0	0	0
21	池原 綾香	2	2	4
24	原 希美	3	0	3
25	大山 真奈	1	1	2
27	佐々木 春乃	1	2	3
28	永田 しおり	0	1	1
29	松村 杏里	2	1	3
30	亀谷 さくら	0	1	1
	合計	15	16	31

【 戦評 】

予選ラウンドCグループ、日本の最後のゲームは現在0勝5敗のチュニジアとの一戦であった。この試合の勝敗及び得失点差が決勝トーナメント進出へのポイントとなる重要な試合であった。日本のスターティングメンバーは、GK亀谷、LW松村、CB横嶋、LB原、RB角南(ゆ)、RW池原、PV角南(か)であった。

スローオフは日本、しっかりとDFを広げながらテンポの良いパスワークから横嶋のBTで1点目を挙げる。角南(か)BT、原の7mスローなどで連続得点を挙げ3-0とリードする。対するチュニジアは現時点での得点ランキング5位に位置する20番のエースに、鋭いDSを決められ3-1となる。ここで日本は7人攻撃をしかけ原のBT、松村のFBなどで得点を重ねる。チュニジアもチャンスでノーマークを作るが、日本の守護神の亀谷にことごとくセーブされる。15分過ぎ日本はDFシステムを高めに変更、角南のPSで7-4にするがすぐさま20番のDSで7-5と食らいつかれる。ここで日本が最初のタイムアウトを申請する。しかしチュニジアがリバウンドを決めて7-6の一点差に肉薄。さらにチュニジアはFBでチャンスを作るが、亀谷がノーマークシュートを連続でフィンセーブすると、日本は佐々木のBTから怒濤の8連続得点を見せ15-6と一気に9点差で前半を折り返す。

後半に入ると、日本のパスミスからFBでチュニジアが15-7とする。39分横嶋のBTで19点目を挙げると、チュニジアもポストやBTでノーマークシュートを放つが3連続で亀谷に阻まれる。23分佐々木の鋭いクイックでのDSがゴール左隅に決まると28-13に得点差を広げ、最後は大山、永田の得点で31-13としゲームセット。

日本はベンチ入りメンバーを全員出場させる余裕を見せチュニジアに大勝し、決勝トーナメントの出場権をもぎ取った。

この試合のベストプレーヤーオブザマッチは安定した守備を見せたGKの亀谷が受賞した。決勝トーナメントでもスーパーセーブを期待したい。

報告記入者 :

齊藤慎太郎